

【表1】 松江城・石垣修理の履歴

和暦	西暦	月日	事項（出典）
延宝2年	1674	6月25日	出雲地方大雨。大雨により、三之丸御殿は玄関三段目まで浸水
		9月	石垣修理の伺いを幕府に提出（出雲国松江城之絵図）
元禄4年	1691		北出丸（北廓）の石垣を補修
			「城ノ北廓、謂ニフ之ヲ北出丸一ト、石壁崩ルルコト数間、告ニテ于官一ニ而補繕ス」（綱近年譜上）
元禄10年	1697	6月晦日	雨により三之丸北多門の石垣が崩れ、幕府に届け修理（綱近年譜、御作事所御役人帳）
元禄15年	1702	8月	大雨で宍道湖が増水、松江城の石垣が壊れる
			「秋閏八月三日、自二八月二十七日一、雲州大ニ風雨シ至二晦日一ニ、愈々甚シク及ニテ今日一ニ、浸漸止ム、洪水湯々囊ニ平地一ニ、其ノ深キコト五六尺或ハ八九尺、湖水増スコト一丈一ニ尺也」（綱近年譜）
享保2年	1717		石垣修理の伺いを幕府に提出
			「同月二十三日（中略）雲州城垣頽ル、図上シ請テ繕レ之」（宣維年譜全）
享保5年	1720		石垣修理の伺いを幕府に提出
			「同月二十九日、雲州城垣頽ル、図上シ請テ繕ニ復ス之一ヲ」（宣維年譜全）
元文3年	1738	7月	石垣修理の伺いを幕府に提出（松江城郭図）
寛延1年	1748	5月23日	出雲地方で地震（宗衍年譜）
		10月頃	石垣修理の伺いを幕府に提出
			「冬十月十一日、先レ是ヨリ、松江城ノ第二ノ郭ノ石塁一所、以ニテ風雨一ヲ崩壊ス、乃チ呈レシテ図ヲ、請ニ修繕ヲ於官一ニ、至レテ是ニ、充レス之ヲ」（宗衍年譜）
寛延2年	1749		北之丸（後山）の土手が崩れ補修する
			「（5代目 佐藤繁右衛門）九月廿二日、後山土手崩所御普請中添奉行被仰付」「同（寛延3年）六月十一日、後山土手崩所御普請出精相勤付而、為御褒美上下被下之」（松江藩列士録・佐藤周鮮）
安永2年	1773		松江城外曲輪の石垣が崩れ、幕府に修復を願う（雲国候年譜）
		7月	石垣修理の伺いを幕府に提出（出雲国松江城〔諸国城郭修復図〕）
安永7年	1778	8月	石垣修理の伺いを幕府に提出（松江城郭古図）
天明1年	1781	1月13日	石垣修理の伺いを幕府に提出。同月27日に幕府より許可
			「斯日 出雲国松江城石垣崩、以ニ絵図一、達ニ老職一、願ニ於補修一 斯月二十七日、以ニ奉書一願許容焉」（雲国候年譜）
文化1年	1804		この年、北之丸（後山）の石垣修復
			「（三成伴六）九月廿日、後山石垣御普請懸り合、被仰付置之處、出精相勤ニ付、為御褒美銀貳拾匁被下之」（松江藩列士録・三成伴六）
天保3年	1832		本丸、二之丸の石垣が破損。中櫓と二棟の櫓の建て直し（普門院文書）
嘉永4年	1851		二之丸登廊下および石垣の修理
			「（小林左平太）七月七日、二丸登御廊下并同所石垣御普請御用精出就相勤、為御褒美銀二匁被下之」（松江藩列士録・小林祖一郎）

（「松江城関連事項編年表」より作成）